分野	科目名	配当年次	開講期
専門分野	暮らしを支える看護	2 年次	前期

単位数	時間	担当教員	実務経験の有無
1 単位 (15 時間)	16 時間	遠藤奈美子	有

授業の概要	疾病や障害を持ちながらも地域で生活する人々とその家族の様子や、その方々の生活の質の向上に向けて多職種チームで連携していることを視聴覚教材やグループワークを通して学ぶ。また、地域・在宅看護を取り巻く環境は、社会と連動しながら変化していることを学ぶ。
到達目標	1．地域・在宅看護の目的と特徴を理解する。 2．地域・在宅看護の対象を理解する。 3．地域・在宅看護における看護師の役割を理解する。 4．地域・在宅看護における家族支援のあり方を理解する。

授業計画

No.	授業内容	授業方法	備考
1	地域・在宅看護に求められる役割を考える	講義・DVD	
2	地域・在宅看護の対象（年齢・疾患・障害・家族）	GW	
3	地域・在宅看護の対象（年齢・疾患・障害・家族）	GW	
4	暮らしを支える看護とは	講義	
5	地域・在宅看護における多職種について	GW	
6	地域・在宅看護における多職種連携	GW・DVD	
7	療養の場の移行に伴う看護、地域包括ケアシステム	講義・DVD	
8	地域・在宅看護の変遷、地域・在宅看護における家族支援	講義・GW	

評価	筆記試験 100 点
参考文献	1）系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の基盤　地域・在宅看護論１　医学書院 2）系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の実践　地域・在宅看護論２　医学書院 3）秋山　正子：在宅ケアの不思議な力　医学書院　2010. 4）秋山　正子：在宅ケアのつながる力　医学書院　2011. 5）角田直枝：“訪問看護で変わる希望の在宅介護”　小学館　2014
備考	